

本部 中期経営計画（2020-2022 年度）

（本部の中期計画については 2019 年度から 4 ヶ年の計画を策定しておりましたが、法人中期経営計画の策定に伴い大項目を合わせるとともに、内容を一部見直して 3 ヶ年の計画を作成しました。）

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

情報発信ツールの創出

（1）法人Webサイト、SNS等の充実

- ・法人のWebサイトを更改します。スマートフォン対応とし、フェイスブック、インスタグラム等SNSとの連携や採用ページを充実させた内容とします。又、新たな発信ツール（動画コンテンツ）の作成を行い、施設の取り組みや委員会活動の様子を広く発信します。
- ・法人パンフレットを更改し情報発信ツールとして活用します。同時に採用に特化したパンフレットの作成を行います。

（2）愛&ハートの活用

- ・愛&ハートを通じて施設での取り組みを発信します。内容や構成等を企画検討し、本誌のリニューアルも視野にいれ、より訴求力のある発信ツールとして活用します。

（3）法人設立 50 周年記念事業の検討、実施

- ・法人設立 50 周年（2021 年 1 月）に向けた記念事業を実施します。成果物を法人の発信ツールとして継続して活用します。

2. 安心で信頼されるサービスの提供

＜法人内事例発表会の開催＞

（1）法人内事例発表会の企画・検討

- ・職員の更なる想像力や発想力の向上、スキルアップ、施設間交流を目的として、法人内での事例発表会を開催します。本部主導で企画、日程調整等を行い、実施の定例化を目指します。更には優良事例について外部の発表会等への参加を促進します。

（2）発表会の発信

- ・発表会における内容や様子（動画）をWeb、SNSサイトや愛&ハートを通じて発信します。

3. 安定的で継続性をもった経営

（1）資金投資計画の策定

- ①法人全体における中期の資金収支の予測と計画を策定します。投資検討案件を取りまとめ収支計画を見ながら優先順位をつけた検討を行います。
- ②法人全体の積立資産の一括管理や収入予算等の管理体制を構築し運用ルールを策定します。
- ③あいハート須磨の土地使用貸借契約終了後の対応について、あいハート須磨と連携し、所有者（NTT西日本）との交渉を継続して行います。

(2) 財務状況の健全化

①収益構造の見直し

- ・新人事考課制度と連動した新賃金制度を構築します。

②既存事業の充実及び新規事業計画の立案

- ・施設と連携し既存事業の更なる収益拡大に向けた方策の検討や事業規模の拡大を目指します。
- ・脳梗塞リハ事業の集客支援を行うとともに、新たな事業の情報収集、検討、絞込みを行い、新設に向けて計画の立案を行います。

(3) 寄付金減少への対応

①NTT労組役員の法人への参画推進と組合員への理解促進

- ・NTT労組による後援会活動やボランティア等の維持、継続のため、法人の経営に労組役員が参画できるよう対応を行います。
- ・設立50周年を機会とした新たな労組へのアクションプランに着手し、実施に向けて取り組みます。
- ・組合員への理解促進を進めるため、法人の設立経緯や現状についての講演の場を企画し、労組による後援会活動の取り組みへの協力を行います。

②NTT労組、関連組織への優遇制度の検討

- ・NTT労組組合員や御家族に向けた優遇利用制度について、あいハート離宮前や脳梗塞リハビリステーション神戸須磨の収支計画にあわせて検討を行います。

(4) 人材の確保と育成

①新人事考課制度の運用

- ・2020年度からのスムーズな運用開始に向け、職員への説明会を実施し制度の理解を促します。
- ・導入後の検証（施設間での評価格差等）を行い必要な部分については是正するとともに、定期的な評価者研修を計画します。

②新賃金制度の運用

- ・新賃金制度の導入に向け、早い段階から格付け移行の実施や移行対応を行い、2021年度からのスムーズな導入を目指します。
- ・導入後の検証（施設間・職種間等）を行い、必要な部分については是正を行います。

③インターンシップ制度の構築と人材確保策の実施

- ・従来の活動に加え、新たな採用チャネルの開拓やインターンシップ制度による人材確保施策等を検討し取り組みます。
- ・求人訪問活動は施設近隣の学校に絞り且つ折衝内容を充実させることで、効率的な訪問活動と教員とのパイプ作りの強化を図ります。また、外国人の学生が増えていることから日本語学校への訪問も検討します。

- ・高卒学生については、2020年度は「進路情報フォーラム」を利用した県外からの採用ルートを継続実施しますが、採用実績とコストを考慮しながら参加対応を行うとともに、新たな高卒学生の確保施策を実施することとします。

④新たな外国人労働者の受入れ検討

<EPA候補生受入れの継続>

- ・ベトナムEPA介護福祉士候補者受入れについては、施設と連携して採用計画を考慮しながら受入れ対応のサポートを行います。

<技能実習制度による受け入れの検討>

- ・EPA候補生の獲得競争が更に激化していることから、新たな外国人雇用のチャネルとして技能実習生制度による外国人労働者の受入れの検討を行います。
- ・EPA候補生との関係上、ベトナム国を第一優先で検討することとしますが、候補者数や競合他法人等の状況を見ながらベトナム以外の国についても情報収集、検討を行います。

<在留資格「介護」制度の検討>

- ・在留資格「介護」についても検討を行います。日本語学校、福祉専門学校（養成校）等への訪問による情報収集や助成金等制度上の留意点を整理します。
- ・新在留資格「特定技能」の採用スキームについても情報収集を行い検討材料とします。

⑤高い規律性や倫理観をもった法人運営（ガバナンス強化）

<専門家による財務会計支援と内部管理体制の整備>

- ・内部統制を整備し、2022年度には外部の専門家による会計チェックを実施します。監査人の設置は当面は延期となっていますが、まずは内部管理体制の整備に重点を置き、将来の監査人設置における導入コストの抑制に努めます。
- ・法人全体としての管理方法や様式について統一を図り、2023年に会計処理マニュアルを完成させます。

<理事会、評議員会の運営>

- ・指導監査ガイドラインに規定する監査事項や厚労省通知に基づき、理事会・評議員会に係わる事項や情報の公開に関する事項について、定期的な自己評価や複眼でのチェックを実施し、不備のない正確な業務を遂行します。
- ・監事監査の適正な実施に向け、監事に対して勉強会やセミナーの参加を促し、より内容の充実した監事監査実施に向けた対応を行います。

4. 地域交流の推進

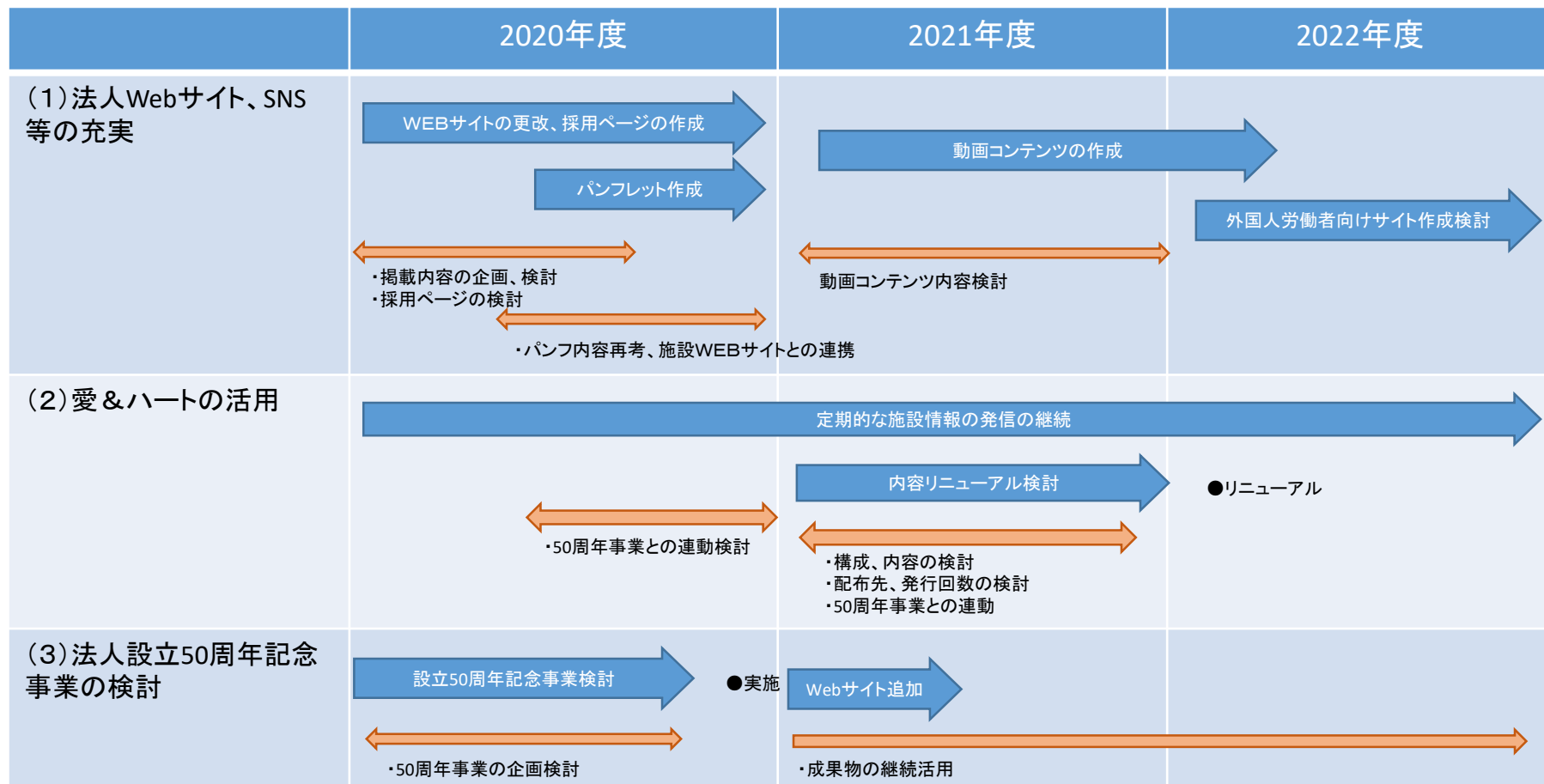
- ・社会福祉法制度改革に伴う「地域における公益的な取組」を発信します。施設における具体的な取り組み内容を理解し、現況報告書に限らず、愛&ハートや法人Webサイトを通じて積極的に発信します。

本部 中期経営計画（2020～2022年度） における実施スケジュール

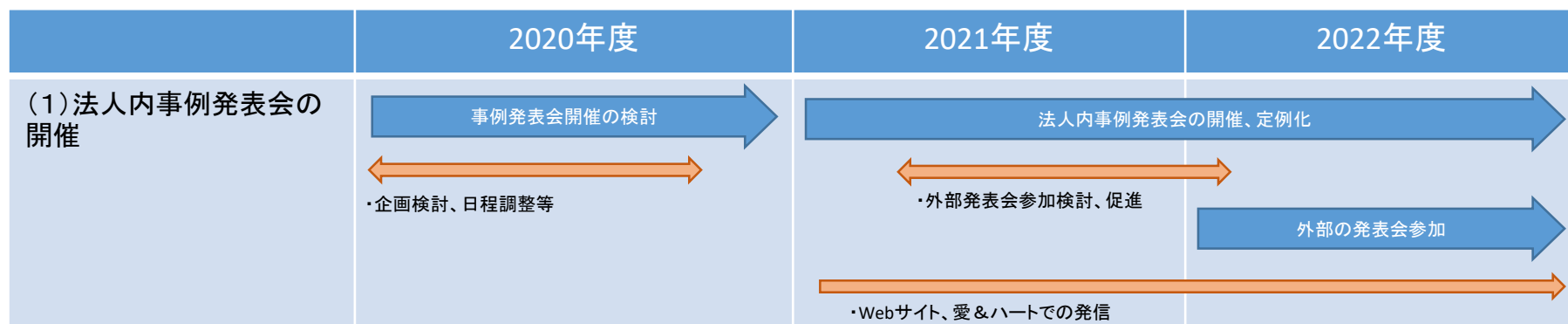
（法人中期計画策定に伴う取り組み項目の一部変更）

社会福祉法人全電通近畿社会福祉事業団
法人本部

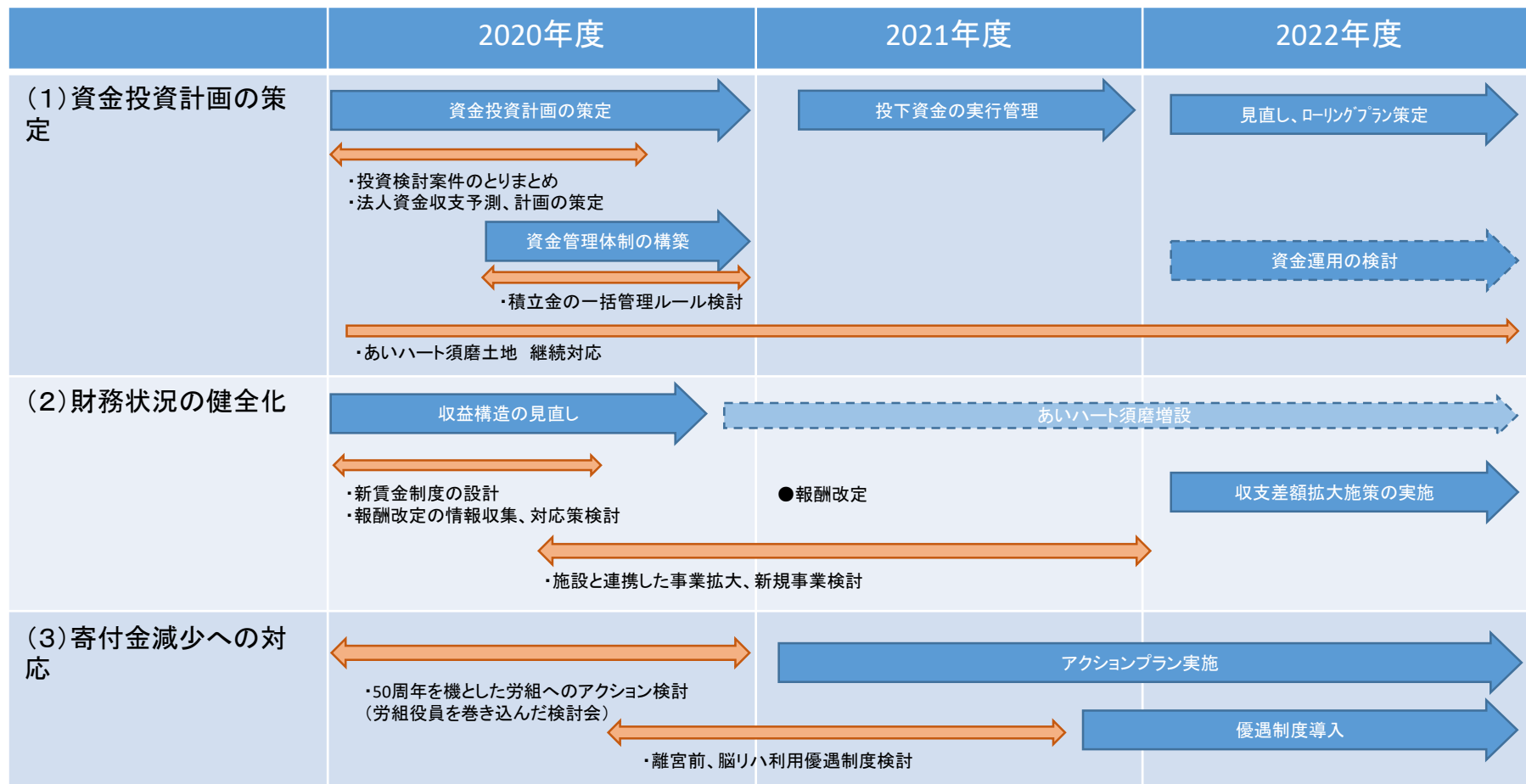
1. 利用者等への対応の充実と情報発信



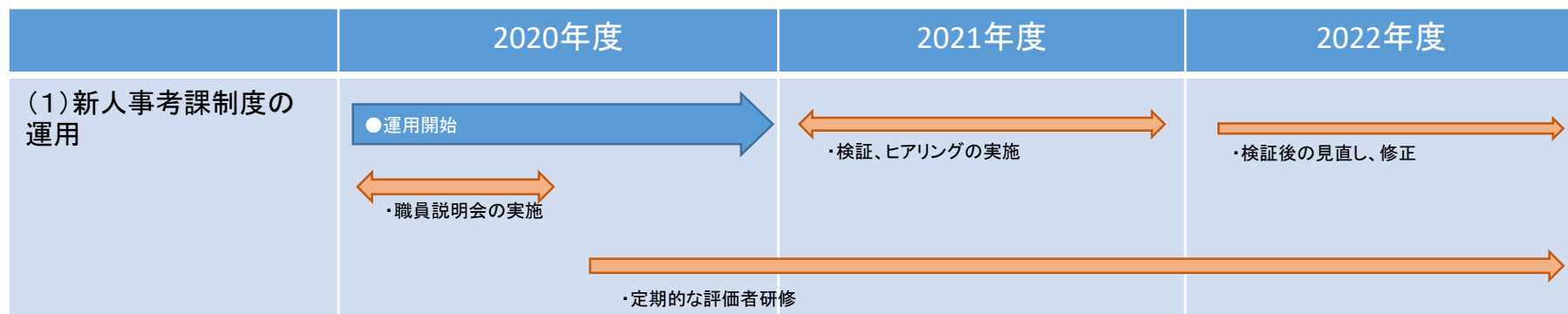
2. 安心して信頼されるサービスの提供

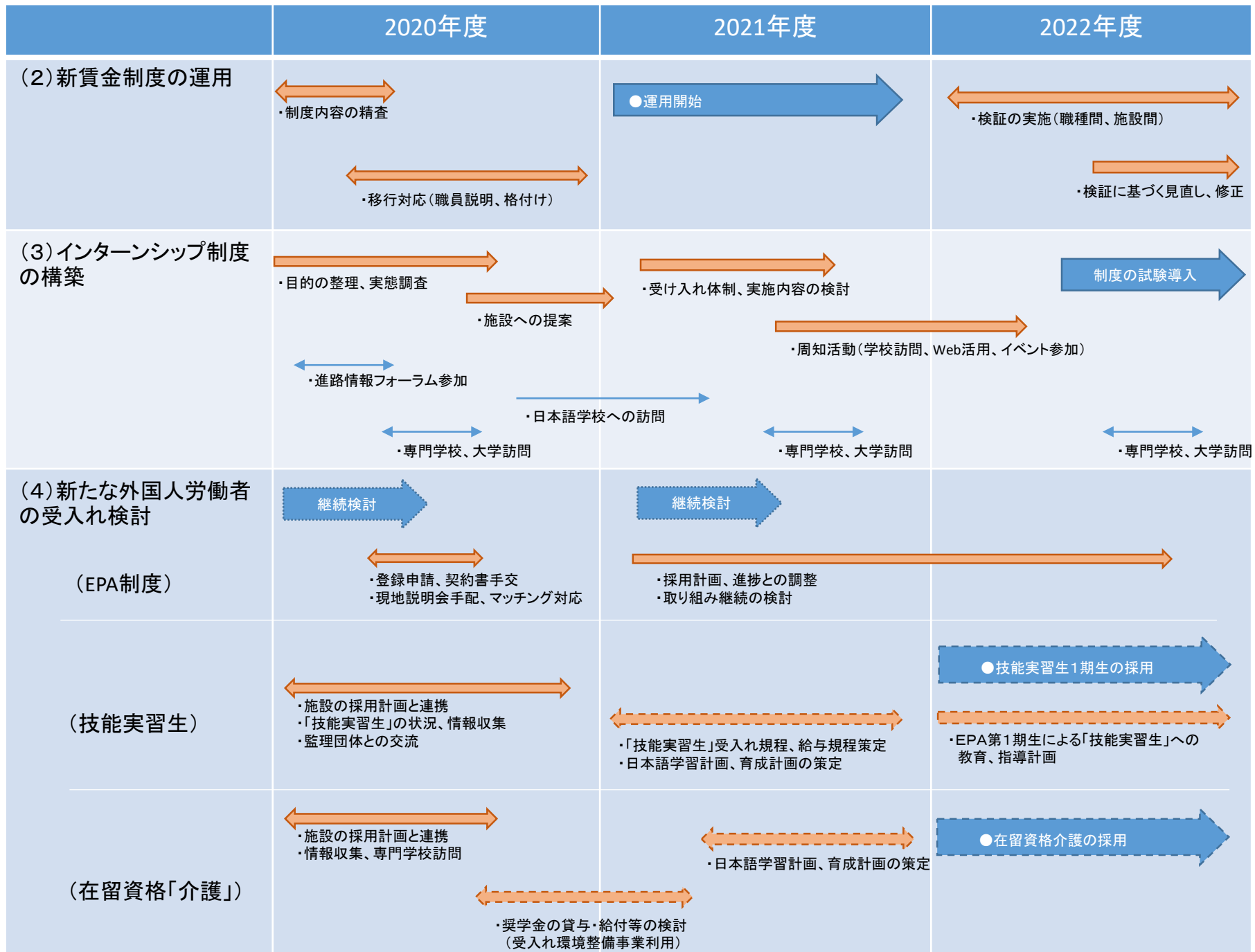


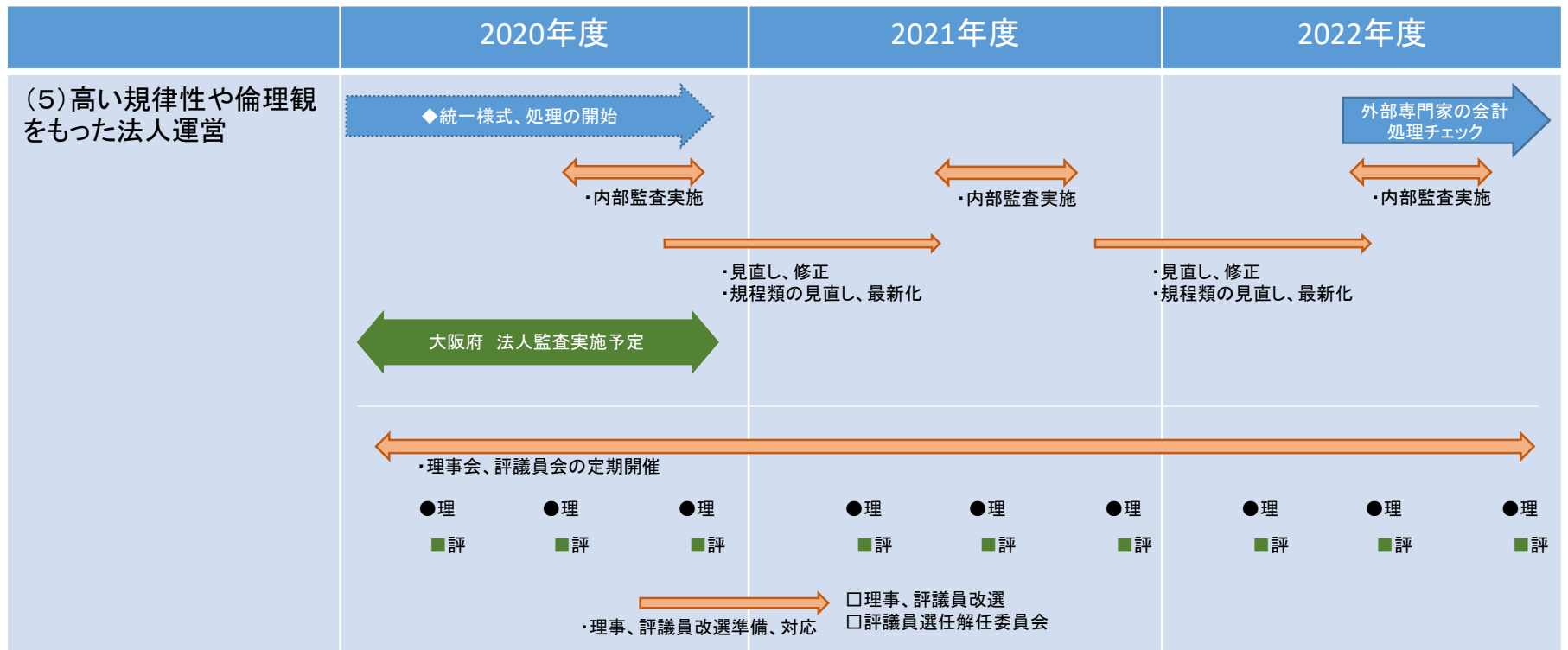
3. 安定的で継続性をもった経営



4. 人材の確保と育成







5. 地域交流の推進

